



公明党
はせべ
長谷部 竜作
りゅうさく
議員

原動機付自転車へのご当地ナンバープレート導入について

問 ホストタウンである本市をアピールするため、オリンピック・パラリンピックを記念した、ご当地ナンバープレートを導入すべきと思うが、その場合の費用はどうか。

答 市民部長 通常のナンバーで、1枚当たり100円程度、図柄入りナンバーでは、1枚当たり300円から450円程度で作成できると聞いています。

問 大会エンブレムの使用は可能か。

答 総務部長 大会エンブレムを管理する大会組織委員会から、原動機付自転車のご当地ナ

ンバーに大会エンブレムを使用することは控えていただきます。しかし、ご提案の件は、機運を高めるよい機会と考えられますので、引き続き組織委員会と協議をしていきたいと考えます。

問 ご当地ナンバー導入の考えはどうか。

答 市民部長 オリンピック・パラリンピックの機運を高めるという観点から、大会エンブレムやその関連商標等が使用可能であるならば、導入する方向での検討を考えていきます。

教育環境の充実について

問 校内WiFi環境を構成する機器が古くなり、授業に支障をきたす場合があると聞いた。機器の更新をすべきと思うがどうか。

答 教育部長 来年度以降、学校統合を視野に入れながら、アクセスポイント等の機器の更新を行い、計画的に校内WiFi環境を整備したいと考えています。

問 総務省の『公衆無線LAN環境整備支援事業』を使い、体育館にWiFi環境の整備

をしようと考えています。体育館のWiFi環境の整備を推進したいと考えています。

をしてはどうか。

答 教育部長 体育館については災害時に避難所として使用されることが多く、総務省は体育館内のWiFi環境の整備を推進しています。

今後、学校の統合計画を視野に入れながら、校舎内WiFi環境の整備とともに、国の補助金等を活用し、体育館のWiFi環境の整備を推進したいと考えています。

問 クラウドを活用した、家庭学習の現況はどうか。

答 教育部長 学習支援ソフト、eライブラリを活用しています。IDとパスワードによって、クラウドにある個人のアカウントにアクセスし、各家庭でもドリル学習を進めることが可能です。

問 家庭学習の場合、各家庭により使用できる機器が、パソコンやタブレット・スマートフォンなど様々だと思うが、マルチプラットフォームでの使用は可能か。

答 教育部長 学習支援ソフトは、マルチプラットフォームとして、パソコンだけでなく、タブレットやスマートフォンでも活用し、学習を進めることが可能です。

問 特別支援学級でのICT機器の活用はどうか。

答 教育長 特別支援学級の児童生徒は、それぞれ別々の課題を抱えており、一斉の授業にはなじまないということが多いです。しかし、タブレット型

のパソコンは、文字入力や操作が比較的易しく、また、アイコンのタッチなどで、直感的な操作をすることができるようになっており、ハンディキャップのある児童生徒も、大変興味を持って取り組んでいるところです。

問 プログラミング教育の準備はどうか。

答 教育長 平成32年度の新指導要領の施行による、プログラミング教育の導入に向け、市の学校情報化推進委員会等において、各教科の中で、どのように児童のプログラミング的思考を育てていくことが大切で必要なのか、研究・研修を進めているところです。

